

電気工学科から 第3種電気主任技術者に3名が合格。

電気工学科から第3種電気主任技術者である「電験3種」の試験に、3名が合格いたしました。
 電験3種とは1種～3種に分類されている電気主任技術者資格の1つで、電圧5万ボルト未満の電気工作物(出力5,000キロワット以上の発電所を除く)の工事、維持及び運用に関する保安の監督を行うことができる資格となっています。合格率は平成28年度で少し高くなったものの、8.5%という難関の国家資格です。昨年度から電気工学科に電験1種の資格を持つ田島助教が着任されており、学生たちにとって早速、良い刺激になったようです。



鬼塚 龍法さん 電気工学科4年
田島研究室 浮羽究真館高校出身

本格的に電気の勉強をするにあたり、勉強したことを形として残したいと思ったのがきっかけです。資格を取得できれば将来の仕事にもつながると思いました。

試験の勉強はまずは過去問を十年分近く解き、分からないところをノートに書きだし、それを繰り返すことで知識を定着させていきました。研究室の田島先生にも教えていただきさらに理解することができました。

電験二種を三年以内に取得できるように、勉強を続けていきます。



江口 卓弥さん 電気工学科4年
田島研究室 三養基高校出身

電験3種に合格でき、とてもうれしいです。4科目を一度に合格できたことは、田島先生の尽力のおかげだと思います。

先生が模擬試験や対策講座を実施してくださったことが合格につながったと思います。今後は、電験2種に向けても勉強をしていきたいと思っています。



高橋 諒佑さん 電気工学科4年
梶原研究室 中間高校出身

電験3種をめざした理由は就職に有利になると思い挑戦してみました。

試験の勉強についてはやはり、繰り返し、繰り返し、勉強することが一番だと思います。これからはこの勢いによって新たな資格の挑戦を続けたいと考えています。

お祝いコメント

- 梶原先生：合格者の皆さんおめでとうございます。日頃の日頃の努力が実りましたね。これからも研鑽を積んでどんどん自分の力を伸ばして行って下さい。ご活躍を期待しています。(電気工学科教授、電気設備学会理事、九州支部支部長)
- 田島先生：合格おめでとう。合格率8.5%ながらも合格できたことは学生諸君の努力の賜物です。電験対策ゼミや8月に行った4回の模擬試験で徐々に力がついているのが分かりました。これを機にさらに上を目指して下さい！